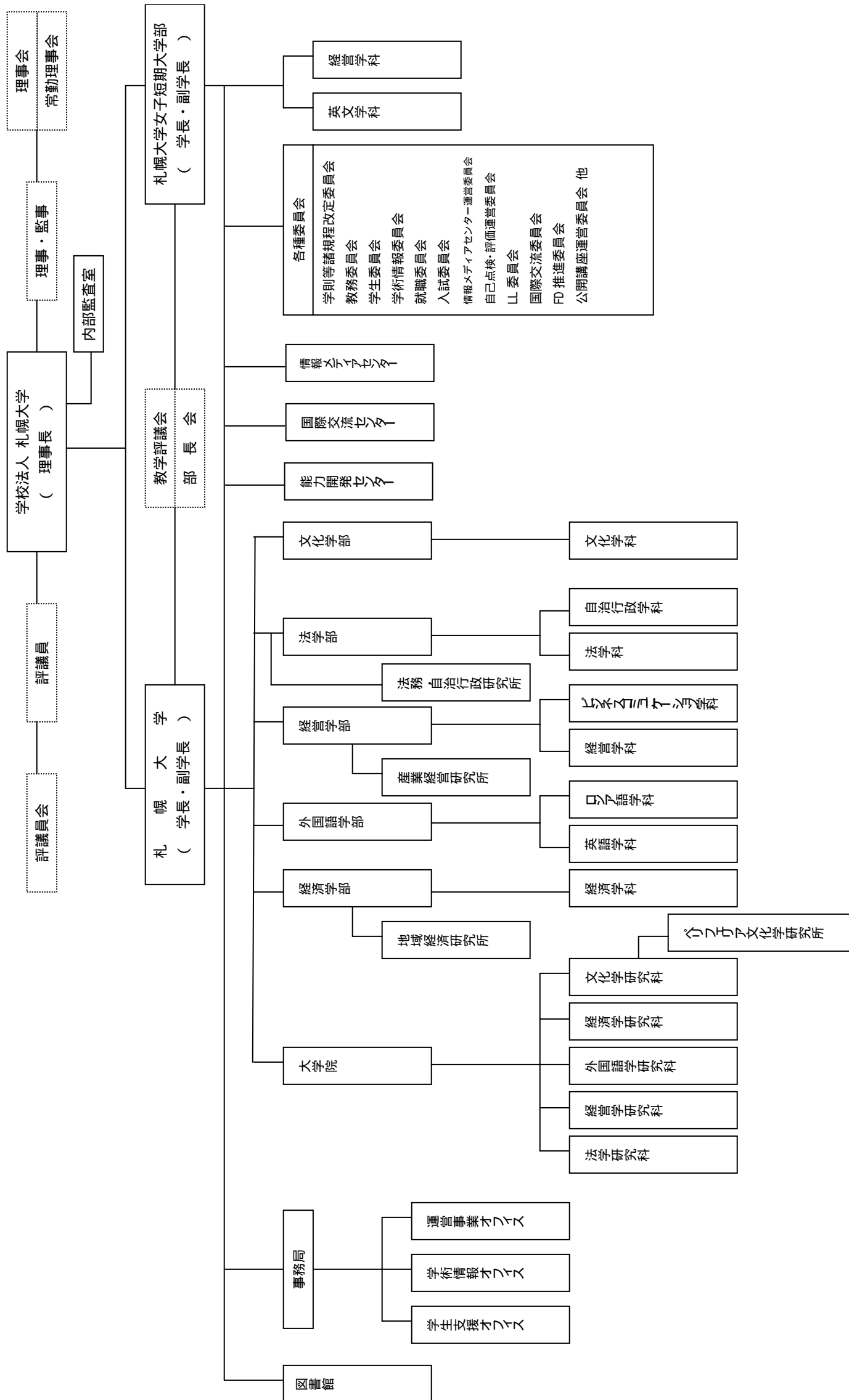


平成19年度学事報告

〔平成19年5月1日現在〕

14 法人・教学組織

(1) 学校法人の組織図 (平成 19 年 4 月 1 日現在)



(2) 理事・監事・評議員等一覧（平成 19 年 5 月 1 日現在）

理 事（定員 15 人以上 17 人以内、現在数 15 人）

理 事 長 ・ 堀 達 也

専務理事 ・ 黒 澤 勝 昭

理事・学長 ・ 宮 腰 昭 男

・ 金 城 秀 樹 ・ 前 林 和 寿 ・ 松 本 源 太 郎 ・ 藤 山 和 夫 ・ 渡 辺 一 郎

・ 伊 藤 義 郎 ・ 吉 野 常 男 ・ 井 川 寅 男 ・ 平 田 利 夫 ・ 平 山 成 信

・ 細 川 武 雄 ・ 吉 澤 織 夫

監 事（定員 2 人、現在数 2 人）

・ 山 本 實 ・ 笠 井 彦 隆

評 議 員（定員 32 人以上 36 人以内、現在数 31 人）

1 号 ・ 宮 腰 昭 男

2 号 ・ 堀 達 也 ・ 伊 藤 義 郎 ・ 黒 澤 勝 昭 ・ 吉 野 常 男 ・ 井 川 寅 男

・ 平 田 利 夫 ・ 平 山 成 信 ・ 細 川 武 雄 ・ 吉 澤 織 夫

3 号 ・ 竹 川 雅 治 ・ 前 林 和 寿

4 号 ・ 藤 山 和 夫 ・ 渡 辺 一 郎

5 号 ・ 森 宏 志 ・ 藤 井 敬 一 ・ 伊 藤 条 一 ・ 木 本 省 三 ・ 対 馬 徳 昭

・ 大久保 和 幸 ・ 大久保 宰 雄 ・ 小笠原 軍 治 ・ 今 野 克 己 ・ 鶴 羽 樹

・ 金 城 秀 樹 ・ 松 本 源 太 郎 ・ 原 田 明 信 ・ 濱 田 英 人 ・ 靄 日 出 郎

・ 林 研 三 ・ 佐 藤 勝 彦

顧 問

・ 相 馬 秋 夫

(3) 副学長・5部長・学部長・研究科長一覧 (平成19年5月1日現在)

① 副学長

役職名	ふりがな 氏名 [生年月日(年齢)]
副学長	すずき じゅんいち 鈴木 淳一 昭26. 5. 29(55)
副学長	おおもり よしゆき 大森 義行 昭33. 3. 19(49)

② 5部長

役職名	ふりがな 氏名 [生年月日(年齢)]
教務部長	たきもと せい き 瀧元 誠樹 昭44. 11. 16(37)
学生部長	やまだ あきら 山田 玲良 昭42. 3. 31(40)
図書館長	たけかわ まさ はる 竹川 雅治 昭18. 10. 03(63)
入試部長	なかもと かず ひで 中本 和秀 昭27. 2. 22(55)
就職部長	いずみ たか し 泉 敬史 昭33. 11. 5(48)

③ 学部長

役職名	ふりがな 氏名 [生年月日(年齢)]
経済学部長	はらだあきのぶ 原田明信 昭27.10.17(54)
外国語学部長	はまだひでと 濱田英人 昭32.4.11(50)
経営学部長	つるひでろう 鶴日出郎 昭25.10.1(56)
法学部長	はやしけんぞう 林研三 昭26.1.19(56)
文化学部長	さとうかつひこ 佐藤勝彦 昭18.3.2(64)
女子短期 大学部長	ませかつやす 眞瀬勝康 昭22.8.20(59)

④大学院研究科長

役職名	氏名 [生年月日(年齢)]
法学 研究科長	はん だ ゆう じ 半 田 祐 司 昭 18. 8. 31 (63)
経営学 研究科長	さ と う よ し つ ぐ 佐 藤 芳 次 昭 21. 5. 28 (60)
外国学 研究科長	おお や おん 大 矢 温 昭 31. 6. 4 (50)
経済学 研究科長	くわ ばら まさ と 桑 原 真 人 昭 18. 7. 5 (63)
文化学 研究科長	き むら ひで あき 木 村 英 明 昭 18. 10. 23 (63)

(4) 教職員数一覧

《学 長》 1人

学部等名		総数	教授	准教授	講師
経済学部	経済学科	30	20	9	1
外国語学部	英語学科	12	6	5	1
	ロシア語学科	11	8	1	2
	小計	23	14	6	3
経営学部	経営学科	20	10	7	3
	ビジネスコミュニケーション学科	11	10	1	0
	小計	31	20	8	3
法学部	法学科	20	11	8	1
	自治行政学科	10	5	2	3
	小計	30	16	10	4
文化学部	文化学科	28	16	10	2
計		142	86	43	13

女子短期大学部	16	6	6	4
---------	----	---	---	---

合計	158	92	49	17
----	-----	----	----	----

	総数	事務局長	事務局次長	事務長	副事務長	係長	係員
事務局	3	1	2				
内部監査室	2						2
孔子学院事務局	1						1
運営事業オフィス	28			5	2	5	16
学生支援オフィス	39			4	4	9	22
学術情報オフィス	19			2	1	4	12

合計	92	1	2	11	7	18	53
----	----	---	---	----	---	----	----

(5) 教 職 員 名 簿

印は、平成19年度採用者
印は、招聘教員
(平成19年5月1日現在)

教員
《大学・短大学長》 宮 腰 昭 男

経済学部 (30人)		外国語学部 (23人)		経営学部 (31人)		法学部 (30人)		
学部長・教授 原 田 明 信 (経済学科)	学部長・教授 濱 田 英 人 (英語学科)	学部長・教授 靄 日出郎 (経営学科)	学部長・教授 林 研 三 (法学科)	教授 飯 田 隆 雄 教授 井 上 治 子 教授 岩 崎 徹 男 教授 小 北 基 太 教授 小 北 構 孝 教授 工 藤 孝 二 教授 熊 谷 ユ リ ヤ 教授 桑 原 真 人 教授 駒 藤 俊 泰 教授 佐 網 島 不 二 教授 長 尾 川 正 克 教授 堀 本 間 雅 美 教授 本 松 源 太 郎 教授 宮 田 三 康 生 教授 元 田 厚 雄 教授 山 田 紀 小 彌 教授 鷲 井 小 彌 准教授 石 井 陽 介 准教授 稲 垣 洋 士 准教授 岩 内 山 木 隆 准教授 鈴 千 葉 隆 一 准教授 武 川 田 玲 准教授 山 米 田 浩 講 師 宮 川 昭 義	教授 景 山 弘 幸 教授 加 藤 光 男 教授 加 藤 芳 子 教授 加 時 崎 久 夫 教授 三 好 暢 茂 准教授 井 筒 美 津 子 准教授 豊 里 真 弓 准教授 ボゼア, アラン 准教授 松 本 由 起 子 准教授 ラドクリフ, フィリップ 講 師 小 島 基 洋 (ロシア語学科) 教授 泉 敬 史 教授 大 矢 利 温 教授 金 子 喜 男 教授 ジダーノフ, ウラジーミル 教授 鈴 木 淳 一 教授 高 田 純 隆 教授 山 田 隆 教授 ワシリエワ, オリガ 准教授 高 橋 健 一 講 師 田 村 愛 火 堀 越 し げ 子	教授 内 田 一 秀 教授 汪 山 郁 平 教授 小 佐 藤 郁 夫 教授 佐 藤 本 和 次 教授 中 日 前 秀 爾 教授 前 明 今 壽 准教授 今 野 敏 淑 准教授 高 石 敏 枝 准教授 高 豊 田 美 郎 准教授 山 内 幸 敦 准教授 山 本 裕 一 講 師 山 浅 陳 徳 講 師 須 三 拓 也 (ビジネスコミュニケーション学科) 教授 伊 藤 公 紀 教授 大 尾 森 義 行 教授 小 野 智 彦 教授 久 保 田 敏 之 教授 酒 井 春 夫 教授 千 山 博 正 教授 中 上 健 一 教授 三 八 上 勝 一 准教授 森 尾 博 信	教授 五十嵐 一 成 教授 伊 藤 秀 武 教授 金 倉 武 雅 教授 竹 川 雅 宏 教授 田 原 井 田 久 教授 土 半 田 司 明 教授 福 前 土 原 明 一 教授 前 梶 恒 桂 教授 野 口 大 有 教授 早 矢 仕 橋 子 教授 舟 前 田 明 彦 教授 森 山 山 弘 教授 田 崎 眞 紀 子 教授 小 田 切 良 教授 菅 野 耕 礼 教授 鈴 田 木 中 稔 教授 山 田 谷 成 一 教授 浅 野 秀 二 教授 藤 野 倉 岡 明 教授 宇 小 武 岡 明 講 師 三 毅 講 師 三 毅 暁 積 夫 講 師 弘 夫 朗 志 子	*教員合計 158人
文化学部 (28人)		女子短期大学部 (16人)		名誉教授 (38人)				
学部長・教授 佐藤 勝彦 (文化学科)	学部長・教授 眞 瀬 勝 康 (英文学科)	青 山 治 郎 荒 川 淳 三 伊 賀 上 正 俊 内 梅 田 原 達 實 大 森 村 沼 之 助 貝 叶 村 村 一 郎 木 熊 芸 林 正 直 夫 芸 斎 堯 塚 和 民 治 柴 井 清 田 水 昭 菅 相 馬 守 一 胤	教授 工 藤 利 彦 教授 グリーン, ウィリアム 教授 塚 谷 周 次 准教授 後 藤 善 久 准教授 松 田 潤 子 准教授 湯 浅 恭 昌 講 師 遠 藤 子 子 講 師 渡 部 あ さ み (経営学科) 教授 中 村 博 信 教授 三 木 芳 夫 准教授 井 上 奈 子 准教授 小 山 茂 子 准教授 長 谷 部 宗 吉 講 師 土 堀 方 直 育 江 育 也	尚 子 平 武 良 作 男 健 修 二 次 郎 明 郎 弘 郎 夫 男 迪 法 昇 晤 彰 繼 昭 元 軍 三 俊 眞 高 孝 義 昌 岡 松 中 村 田 永 瀨 子 場 田 尾 原 良 内 川 口 谷 高 高 田 寺 遠 德 成 林 原 馬 匹 平 福 星 宮 山 山 山 萬 尚 子 平 武 良 作 男 健 修 二 次 郎 明 郎 弘 郎 夫 男 迪 法 昇 晤 彰 繼 昭 元 軍 三 俊 眞 高 孝 義 昌 岡 松 中 村 田 永 瀨 子 場 田 尾 原 良 内 川 口 谷 高 高 田 寺 遠 德 成 林 原 馬 匹 平 福 星 宮 山 山 山 萬				
教授 石 塚 純 一 教授 川 名 村 文 明 教授 木 越 野 武 教授 清 水 隆 夫 教授 下 川 和 一 教授 進 藤 賢 土 教授 高 宮 広 偉 雄 教授 張 本 田 優 子 教授 增 田 敦 治 教授 御 手 洗 昭 幸 教授 山 橋 幸 子 教授 ランベッリ, ファビオ 教授 李 景 珉 准教授 小 笠 原 正 之 准教授 金 沢 英 之 准教授 川 上 清 志 准教授 川 村 清 志 准教授 ジボー, マーク 准教授 高 瀧 元 誠 准教授 田 中 幹 子 准教授 渡 邊 さ ゆ り 講 師 金 束 原 文 郎								

事務職員

(平成19年5月1日現在)

<p>《事務局・3人》</p> <p>事務局長 豊木昭芳 事務副局長 岡地昭功 事務副局長 清野昭一</p>	<p>《内部監査室・2人》</p> <p>長 浜 雅 利 若 井 勝 蔵</p>	<p>《孔子学院事務局・1人》</p> <p>(兼務) (中野直春) (兼務) (加吉清見真征二)</p>
<p>《運営事業オフィス・28人》</p> <p>事務局長 明加石直和二 事務副局長 加佐木清真 事務副局長 篠原澤幸基 事務副局長 永谷口卓孝 事務副局長 谷宮菊原敏三 事務副局長 工古藤賀野 事務副局長 越辻秋野東家 事務副局長 伊氏遠大大海高西 事務副局長 弘本宮村 事務副局長 本庄木 事務副局長 勝正伸</p>	<p>《学生支援オフィス・39人》</p> <p>事務局長 近武藤幸博 事務副局長 中長小藤 事務副局長 米笹部秋市岩加賀 事務副局長 笹部秋市岩加賀 事務副局長 野原野 事務副局長 田森田山田松野山 事務副局長 田川原澤 事務副局長 木藤田水原中永山山江倉本本 事務副局長 藤藤松森八重 事務副局長 安</p>	<p>《学術情報オフィス・19人》</p> <p>事務局長 柴森池野正裕 事務副局長 佐平三渡石伊岡坂笹滝田中長野彦山 事務副局長 野内木川浦部川藤山尻川本端明島中田口 事務副局長 繁雅孝治よ優由 事務副局長 恵敏武 事務副局長 志子美 事務副局長 毅子孝史 事務副局長 惠子之志子 事務副局長 勲の子美</p> <p>*職員合計 92人</p>

15 平成 19 年度予算概要

近年、社会の急速な変化や国際化の進展に伴い、あらゆる分野で改革が進められており、高等教育においては、多様化する国民のニーズに対応して、各大学が個性・特色を一層明確にし、教育研究の質的充実をはかることが、大きな課題となっている。

その一方では、少子化などに伴い、私立学校を取り巻く環境は 18 歳人口の減少に加え、国立大学の法人化により、大学間の競争はますます激化している。

このような状況のなかで、本学が今後とも健全な発展を遂げ、高等教育の担い手として社会の要請に応えていくためには、財政基盤の安定が緊急の課題である。

平成 19 年度は、新しい文化学部がスタートし、変化する教育ニーズに対応するには、「第三次基本計画」を踏まえながら、教育改革の見直しや新たな学部発展総合計画を推進する必要がある。

平成 19 年度の事業計画は、全学的・一元的教育体制の構築(学生プロフィールデータシステムの構築等)及び学部発展総合計画などの「第三次基本計画」の促進と管理運営機能の整備を重点施策とし、札幌大学サテライトキャンパス、札幌大学孔子学院及び、創立 40 周年記念事業実施に向けて、札幌大学をアピールできる事業を推進していくものとする。

【消費収支予算】

[収入予算]

学生生徒等納付金は、入学金、授業料及び施設設備費は据置くこととし、入学者は定員の 1.00 倍で積算した。これにより、新入生は 1,470 人(内、大学院 32 人)、学生総数は 5,706 人(内、大学院 54 人)となり、対前年度 204,894 千円減の 5,181,497 千円となった。

手数料は、入学検定料 30 千円(大学入試センター試験 14 千円、私費外国人留学生 10 千円)に据置くとともに、一般入試及び大学入試センター試験の併願者に対しては、入学検定料の減額措置を実施する。

また、受験者数は 3,258 人(内、私費外国人留学生 40 人、大学入試センター試験 770 人、大学院 48 人)を想定し、証明手数料、センター試験実施手数料等を加えて、対前年度 5,804 千円増の 93,415 千円を見込んでいる。

寄付金は、特別寄付金で後援会からの援助金 4,305 千円(後援会費収納システムへの援助金)の減があり、対前年度 5,305 千円減の 19,200 千円を見込んでいる。

補助金は、経常費補助金で特別補助金の増により 87,834 千円の増加、研究設備整備費補助金の申請に伴い、3,628 千円の増加、その他、留学生の減少による留学生修学援助補助金の減少、札幌市補助金の制度変更等による減少、施設高度化利子助成金の調整率変更による増加により、対前年度 91,121 千円増の 578,325 千円を見込んでいる。

資産運用収入は、資金運用による有価証券受取利息の増により、対前年度 131,858 千円増の 312,420 千円を見込んでいる。

事業収入は、孔子学院講座収入の増加、能力開発センター講座収入の減少により、対前年度 3,567 千円増の 39,385 千円を見込んでいる。

雑収入は、私立大学退職金財団交付金の増加により、対前年度 98,812 千円増の 188,948 千円を見込んでいる。

以上により、帰属収入は対前年度 120,963 千円減の 6,413,190 千円となる。

基本金組入額

第 1 号基本金	325,447 千円
・建物 図書館カーペット張替工事、トレリキュアル工事等	29,915 千円
・構築物 構内排水管改修工事	5,252 千円
・その他の機器備品 入試相談会用パソコン	4,235 千円
・図書 一般図書 他	112,218 千円
除却 等	25,793 千円
・借入金返済	199,620 千円
合計	325,447 千円

以上により、収入の部合計は対前年度 161,939 千円増の 6,087,743 千円となる。

[支出予算]

人件費は、教員 159 人、職員 92 人で積算し、対前年度 155,996 千円増の 3,281,096 千円を見込んでいる。増加の要因は、退職金、退職給与引当金繰入額の減によるものである。

教育研究経費は、対前年度 73,162 千円増の 2,112,820 千円を見込んでいる。増加の要因は、奨学費で 37,691 千円、委託管理費で 79,149 千円、公租公課で 16,051 千円、厚生費で 12,522 千円及び減価償却費で 8,083 千円等の増加によるものである。

管理経費は、対前年度 13,150 千円減の 598,295 千円を見込んでいる。減少の主な要因は、広告費で 32,180 千円、修繕費で 19,807 千円、公租公課で 5,900 千円等の減少によるものである。

借入金等利息は、私学事業団借入金の元金返済に伴う利息の減少により対前年度 8,985 千円減の 36,726 千円を見込んでいる。

資産処分差額は、対前年度 1,746 千円減の 27,643 千円を見込んでいる。この減少の要因は、個人研究費購入図書の除却が前年度より少なかったことにより、この除却損が減少したものである。

予備費は、不測の事態に対処するため 30,000 千円を計上した。

以上により、支出の部合計は対前年度 185,277 千円増の 6,086,580 千円となり、消費収支は 1,163 千円の収入超過となる。（『消費収支予算書』参照）

【資金収支予算】

[収入予算]

学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入（現物寄付金を除く）、補助金収入、資産運用収入、事業収入及び雑収入については、消費収支予算書と同じなので省略する。

前受金収入は、平成 20 年度学費等納付金の在学学生前納者の減少により対前年度 67,725 千円減の 1,308,782 千円を見込んでいる。

その他の収入は、退職給与引当預金からの繰入収入、前期末未収入金収入の減により、対前年度 54,039 千円減の 168,220 千円を見込んでいる。

資金収入調整勘定（控除科目）は、期末未収入金の増（退職金財団交付金の増）及び前期末前受金の減により、対前年度 79,462 千円増の 1,494,230 千円を見込んでいる。

以上により、前年度繰越支払資金 5,042,436千円を加え、収入の部合計は対前年度 413,805千円増の 11,436,398千円となる。

[支出予算]

人件費は、教員 159 人、職員 92 人で積算し、対前年度 98,898 千円増の 3,273,835 千円を見込んでいる。増加の要因は、退職金支出等が増加したことによるものである。

教育研究経費支出（減価償却費を除く）、管理経費支出（減価償却費を除く）、借入金等利息支出及び予備費は、消費収支予算書と同じなので省略する。

借入金等返済支出は、前年度予算どおりである。

施設関係支出は、既存校舎・施設の改修工事等の減及び構築物支出の増により対前年度 2,443 千円増の 35,440 千円を見込んでいる。

設備関係支出は、学生談話室机・仮の取替、A V 設備プロジェクターの更新等により対前年度 34,039 千円減の 140,150 千円を見込んでいる。

資産運用支出は、退職者の増加により退職給与引当特定預金への繰入支出を 7,261 千円と見込んでいる。

その他の支出は、預り金支払支出及び仮払金支払支出等の減少により、対前年度 17,359 千円減の 360,308 千円を見込んでいる。

資金支出調整勘定（控除科目）は、前期末前払費用の増加により、対前年度 2,940 千円増の 301,373 千円を見込んでいる。

以上により、次年度に繰越される支払資金は、対前年度 333,021 千円増の 5,375,457 千円となる。（『資金収支予算書』参照）

平成19年度 消費収支予算書

(単位 円)

消費収入の部		
科	目	金額
	学生生徒等納付金	5,181,497,000
	手数料	93,415,000
	寄付金	19,200,000
	補助金	578,325,000
	国庫補助金	577,857,000
	地方公共団体補助金	468,000
	資産運用収入	312,420,000
	事業収入	39,385,000
	雑収入	188,948,000
	帰属収入合計	6,413,190,000
	基本金組入額合計	△ 325,447,000
	消費収入の部合計	6,087,743,000
消費支出の部		
科	目	金額
	人件費	3,281,096,000
	教育研究経費	2,112,820,000
	管理経費	598,295,000
	借入金等利息	36,726,000
	資産処分差額	27,643,000
	[予備費]	30,000,000
	消費支出の部合計	6,086,580,000
	当年度消費収入超過額	1,163,000
	前年度繰越消費収入超過額	2,626,738,636
	翌年度繰越消費収入超過額	2,627,901,636

平成19年度 資金収支予算書

(単位 円)

収入の部		
科	目	金額
	学生生徒等納付金収入	5,181,497,000
	手数料収入	93,415,000
	寄付金収入	17,200,000
	補助金収入	578,325,000
	国庫補助金収入	577,857,000
	地方公共団体補助金収入	468,000
	資産運用収入	312,420,000
	事業収入	39,385,000
	雑収入	188,948,000
	前受金収入	1,308,782,000
	その他の収入	168,220,000
	資金収入調整勘定	△ 1,494,230,000
	前年度繰越支払資金	4,351,589,260
	収入の部合計	10,745,551,260
支出の部		
科	目	金額
	人件費支出	3,273,835,000
	教育研究経費支出	1,722,690,000
	管理経費支出	556,284,000
	借入金等利息支出	36,726,000
	借入金等返済支出	199,620,000
	施設関係支出	35,440,000
	設備関係支出	140,150,000
	資産運用支出	7,261,000
	その他の支出	360,308,000
	[予備費]	30,000,000
	資金支出調整勘定	△ 301,373,000
	次年度繰越支払資金	4,684,610,260
	支出の部合計	10,745,551,260

16 入学試験関係事項

(1) 平成19年度入学試験結果

学部	学科	定員	区分	募集人員	2007年度			充足率
					出願者数	合格者数	入学者数	
経済	経済	300	推薦	139	142	131	130	93.5
			帰国生徒・社会人	4	0	0	0	0.0
			外国人留学生	2	0	0	0	0.0
			一般	125	271	247	115	92.0
			センター利用（前期）	20	127	82	21	105.0
			センター利用（後期）	10	15	9	4	40.0
			小計	300	555	469	270	90.0
外国語	英語	100	推薦	32	31	30	30	93.8
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	45	127	91	53	117.8
			センター利用（前期）	20	92	64	17	85.0
			センター利用（後期）	3	12	11	5	166.7
			小計	100	262	196	105	105.0
	ロシア語	50	推薦	24	14	14	14	58.3
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	16	16	15	6	37.5
			センター利用（前期）	7	12	11	2	28.6
			センター利用（後期）	3	1	1	1	33.3
			小計	50	43	41	23	46.0
経営	経営	250	推薦	120	192	192	192	160.0
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	5	3	3	3	60.0
			一般	100	192	135	59	59.0
			センター利用（前期）	20	91	83	22	110.0
			センター利用（後期）	5	23	17	7	140.0
			小計	250	501	430	283	113.2
	ビジネスコミュニケーション	100	推薦	35	58	58	58	165.7
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	15	6	3	2	13.3
			一般	44	26	21	8	18.2
			センター利用（前期）	4	25	25	6	150.0
			センター利用（後期）	2	8	7	2	100.0
			小計	100	123	114	76	76.0
法	法	200	推薦	95	59	59	58	61.1
			帰国生徒・社会人	3	0	0	0	0.0
			外国人留学生	2	0	0	0	0.0
			一般	75	120	106	52	69.3
			センター利用（前期）	20	120	97	26	130.0
			センター利用（後期）	5	8	5	3	60.0
			小計	200	307	267	139	69.5
	自治行政	100	推薦	53	18	18	18	34.0
			帰国生徒・社会人	2	0	0	0	0.0
			外国人留学生	2	0	0	0	0.0
			一般	35	26	25	7	20.0
			センター利用（前期）	5	23	20	5	100.0
			センター利用（後期）	3	6	6	2	66.7
			小計	100	73	69	32	32.0

学部	学科	定員	区分	募集人員	2007年度			充足率
					出願者数	合格者数	入学者数	
文化	文化	230	推薦	124	131	131	131	105.6
			帰国生徒・社会人	0	1	1	1	
			外国人留学生	15	15	13	10	66.7
			一般	65	167	155	74	113.8
			センター利用(前期)	20	115	110	19	95.0
			センター利用(後期)	6	16	14	8	133.3
			小計	230	445	424	243	105.7
合 計		1330	推薦	622	645	633	631	101.4
			帰国生徒・社会人	9	1	1	1	11.1
			外国人留学生	41	41	41	41	100.0
			一般	505	945	795	374	74.1
			センター利用(前期)	116	605	492	118	101.7
			センター利用(後期)	37	89	70	32	86.5
			小計	1330	2309	2010	1171	88.0
学部	学科	定員	区分	募集人員	2007年度			充足率
短期 大学部	英文	60	推薦	46	30	30	29	63.0
			特別・社会人	1	0	0	0	0.0
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	13	43	43	23	176.9
			小計	60	73	73	52	86.7
	経営	60	推薦	46	36	36	36	78.3
			特別・社会人	1	0	0	0	0.0
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	13	61	56	24	184.6
			小計	60	97	92	60	100.0
合 計		120	推薦	92	66	66	65	70.7
			特別・社会人	2	0	0	0	0.0
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	26	104	99	47	180.8
			小計	120	170	165	112	93.3

外国人留学生

学部	学科	定員	区分	募集人員	2007年度			充足率
					出願者数	合格者数	入学者数	
経営	経営	5	推薦	5	0	0	0	-40.0
			一般		3	3	3	
経営	ビジネス コミュニケーション	15	推薦	15	1	1	1	-86.7
			一般		5	2	1	
文化	文化	15	推薦	15	0	0	0	-33.3
			一般		15	13	10	
合 計		35		35	24	19	15	-57.1

平成19(2007)年度大学院入学試験状況

大学院

(平成19年5月1日現在)

平成19(2007)年度																		
研究科 入学 定員	出願区分	〔前期〕				〔推薦〕				〔後期〕				〔計〕				
		出願	受験	合格	手続	出願	受験	合格	手続	出願	受験	合格	手続	出願	受験	合格	手続	
法学 10	一般	1	1	0	0					1	1	0	0	2	2	0	0	
	社会人	2	2	1	0					2	2	2	2	4	4	3	2	
	留学生													0	0	0	0	
	計	3	3	1	0	0	0	0	0	3	3	2	2	6	6	3	2	
経営学 10	一般	1	0	0	0					1	1	1	1	2	1	1	1	
	社会人	3	3	2	2					2	2	2	2	5	5	4	4	
	留学生	2	2	0	0					4	2	2	2	6	4	2	2	
	計	6	5	2	2	0	0	0	0	7	5	5	5	13	10	7	7	
外国語学 8	英語	一般								3	3	1	1	3	3	1	1	
		社会人												0	0	0	0	
		留学生												0	0	0	0	
		5 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	3	3	1	1
	ロシア語	一般									1	1	1	1	1	1	1	1
		社会人													0	0	0	0
		留学生													0	0	0	0
		3 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2	2	4	4	2	2		
経済学 10	一般	1	1	0	0									1	1	0	0	
	社会人													0	0	0	0	
	留学生					3	3	2	2					3	3	2	2	
	計	1	1	0	0	3	3	2	2	0	0	0	0	4	4	2	2	
文化学 10	一般	1	1	1	1					5	5	5	5	6	6	6	6	
	社会人									1	1	0	0	1	1	0	0	
	留学生	1	1	1	1					3	3	2	1	4	4	3	2	
	計	2	2	2	2	0	0	0	0	9	9	7	6	11	11	9	8	
合計 48	一般	4	3	1	1					11	11	8	8	15	14	9	9	
	社会人	5	5	3	2					5	5	4	4	10	10	7	6	
	留学生	3	3	1	1	3	3	2	2	7	5	4	3	13	11	7	6	
	合計	12	11	5	4	3	3	2	2	23	21	16	15	38	35	23	21	

(2) 平成 19 年度入試政策について

一般入試日程について

- ・ 一般入試の B 日程を設けた。
- ・ 一般入試 4 日間から 3 日間に 1 日短縮して実施した。

文化学部について

- ・ 時代の要請に応え、これまでの教育内容をさらに強化しつつ、文化学部の 2 学科を統合し「文化学科」に再編し、2 年次からのコース選択制とした
- ・ 入学定員について、260 人を 230 人に減員した。

特待生入学制度について

- ・ 一般入学試験(学科目)・センター試験における成績上位者を対象に、在学中(大学 4 年間・短大 2 年間)の学費(授業料及び施設設備費)を全額免除する制度を新設しました。平成 19 年度は 7 人が特待生として本学に入学しています。また、短大については推薦試験において、指定の資格取得者を対象に春学期分の学費を免除することとした。この制度での入学者はいなかった。

(3) 平成 19 年度入試渉外活動について

渉外活動

- ・ 高校訪問

大学や学部独自の情報を、高等学校側にどう周知徹底させるかが大きな問題である。その結果、高校訪問の重要性を再認識し今までの入試担当職員による訪問から、教員も積極的に訪問し高校側との信頼関係をより深めることを念頭に高校訪問を実施した。特に法学部自治行政学科、経営学部ビジネスコミュニケーション学科、また、文化学部の統合再編(体育教員免許)についての広報を行った。

高校訪問についての、基本は次のとおりである。

訪問対象地域は従来どおりとし、北海道と東北の 2 ブロックとする。但し、ロシア語学科は対象地域を限定しない。

見直しの部分は次のとおり

教員・職員ともに受験生の確保が目的であるが役割分担を明確にし、教員は学部独自の紹介(学部広報)を行い、高校側との良好な信頼関係を醸成し、学部への要望や生徒のニーズなど入試及び学部教育に直接結びつく本音の情報を収集することを目的し、入試委員は、自学部としての高校訪問対象校(ターゲット校は原則として札幌を中心とした石狩圏)を決定する。(但し、指定校はそのかぎりではない)。

ターゲット校決定の方法として、指定校、推薦及び一般入試における高校別受験者数(過去 5 年程度)のデータを基にして、入試委員会から各学部に提示する。

ただし、学部間で重複するターゲット校の調整は再度入試委員会で行った。

各学部はターゲット校に対し訪問教員を決める。訪問教員の担当する高校の決め方は学部に一任する。

各学部における訪問高校が決定した段階で、再度訪問校及び時期等の学部間調整を入試

委員会で行う。

ターゲット校に対する対応については、一定の手順（マニュアル）が必要と思われるので、必要事項を入試渉外小委員会で検討し学部に提示する。（5月下旬）

一方、職員は大学全体の紹介（大学広報）を行い、幅広い受験情報、大学改革情報等を情宣する。

高校訪問は「北海道・東北地区（前年度の本学への進学等を考慮）を重点的に訪問し、関東以南については、入試相談会等の開催時に可能な限り訪問した。なお、原則的に全日制高校を対象」との方針に従い、道内については職員が中心となり訪問し、教員も訪問した。特に石狩圏については、可能な限り2回訪問している。また、新規の推薦指定校は、それぞれの学部教員が訪問した。（重複部分は一部調整。）

- ・ 模擬講義、相談会

入試広報の観点からも非常に重要であり、特に模擬講義(テ - マ等は冊子を作成し、4月に北海道及び青森地区の高等学校に配布、さらには高校訪問時においてPRしている)は、18年度は37校(昨年47校)と昨年よりも減少した。高等学校の「総合的な学習の時間」を利用して約1時間の中で判りやすい講義内容で行っているものであるが、他大学も積極的に高大連携の一環として実施しており、本学への依頼数は減少するものと思われる。

本学の行っている教育内容、更には大学の評価を上げるために、今まで以上に情宣したい。

相談会については、業者主催、高校側単独開催があるが、本学は可能な限り参加して高校生、教諭、保護者と直接触れ合うことでの受験生確保を全面に打ち出している。今後も相談会には参加して受験生の確保を目指したい。また、オープンキャンパスについては年3回開催しているが、実施内容について他大学と異なる企画・高校生の興味のある企画を打ち出して多くの高校生の参加に繋げたい。なお、今年度は学生主体のエントリーカレッジを入学センターと共同で3回開催し、学生募集に繋げることにしたい。

(4) 平成20年度入試政策について

入試委員会の結論を得て、次のとおり入試日程等を変更

- ・ 一般入学試験については、A・B日程入試の複数入試を採用する。
- ・ (ア) A日程入試は、2日間入試とし2月4日～6日に設定する。
- ・ (イ) B日程入試は、1日入試とし3月上旬に実施。
- ・ (ウ) B日程入試は、学科目あるいは推薦・自己PR特別入試等の混合型とする。
- ・ 道内試験会場について
 - (ア) 一般入学試験会場を本学会場の他、旭川市、釧路市に設けることとする。
 - (イ) A日程のみ設けることとする。

校友会・教友会との連携について

- ・ 現状の入試状況を勘案し、校友会・教友会とより一層連携を保ち、さらに理解と協力を求め、志願者の増加に繋げるよう努力したい。

17 学年暦

月 日	大学・短大	月 日	大学院
4 1	入学式	4 1	入学式
2	春学期が ʼﾝｽ・机エンテ-ｼヨﾝ (~6)	6	前期机エンテ-ｼヨﾝ
7	春学期授業 (~7/20)	7	前期授業 (~7/21)
5 1	開学記念日振替休日	5 1	開学記念日振替休日
2	自宅学習日	2	自宅学習日
6 15	文連祭・体育大会 (~17)		
7 23	春学期定期試験 (~28)	7 23	夏期休業 (~9/20)
30	夏期休業 (~9/13)		
9 14	秋学期が ʼﾝｽ・机エンテ-ｼヨﾝ (~20)	9 10	経済学研究科推薦入学試験
21	秋学期授業 (~1/28)	21	後期授業 (~1/28)
22	春学期卒業証書授与式	22	前期学位授与式
10 5	大学祭 (~8)	10 14	前期入学試験
13	スポーツ特別推薦入学試験		
11 24	推薦・特別入学試験 (~25)		
	自己 P R 特別入学試験		
	スポーツ特別推薦入学試験	12 2	経営学・文化学研究科推薦入学試験
12 18	冬期休業 (~1/10)	18	冬期休業 (~1/10)
1 19	大学入試センター試験 (~20)		
25	秋学期定期試験 (~2/1)		
2 4	一般入学試験 (A 日程) (~6)	2 10	後期入学試験
3 1	自己 P R 特別入学試験、スポーツ特別推薦入学試験		
2	一般入学試験 (B 日程)		
19	秋学期卒業証書授与式	3 19	後期学位授与式
31	年度終了	31	年度終了

18 学生数関係事項

(1) 学生数一覧

大学

(平成19年5月1日現在)

学年		1	2	3	4	合計
学部・学科						
経済	経済	271 (25)	380 (25)	302 (26)	309 (33)	1,262 (109)
外国語	英語	107 (57)	139 (75)	107 (52)	138 (83)	491 (267)
	ロシア語	23 (6)	32 (10)	42 (10)	38 (12)	135 (38)
経営	経営	285 (39)	252 (22)	241 (38)	280 (49)	1,058 (148)
	産業情報	- (-)	13 (1)	70 (11)	94 (19)	177 (31)
	ビジネスコミュニケーション	76 (22)	89 (26)	- (-)	- (-)	165 (48)
法	法	139 (19)	251 (30)	245 (43)	279 (36)	914 (128)
	自治行政	32 (2)	75 (5)	- (-)	- (-)	107 (7)
文化	日本語・日本文化	1 (1)	123 (57)	134 (67)	158 (73)	416 (199)
	比較文化	- (-)	77 (33)	103 (43)	144 (40)	324 (116)
	文化	243 (71)	- (-)	- (-)	- (-)	243 (72)
合計		1,177 (242)	1,431 (284)	1,244 (290)	1,440 (345)	5,292 (1,161)

〔 () 内は女子内数 〕

大学院

学年		1	2	合計
研究科・専攻				
法学	法学	2 (2)	3 (1)	5 (3)
経営学	経営学	8 (2)	13 (4)	21 (6)
外国語学	英語学	1 (1)	3 (2)	4 (3)
	ロシア語学	1 (0)	3 (1)	4 (1)
経済学	地域経済政策	2 (2)	3 (0)	5 (2)
文化学	文化学	8 (2)	16 (4)	24 (6)
合計		22 (9)	41 (12)	63 (21)

〔 () 内は女子内数 〕

女子短期大学部

学年		1	2	合計
学科・専攻				
	英文	52	52	104
	経営	60	69	129
合計		112	121	233

大学・大学院・女子短期大学部合計

5,588 人

派遣先大学、国・地域	学部・学科	経済	外国語		経営		法	文化		計
		経済	英語	ロシア語	経営	産業情報	法	日本語・日本文化	比較文化	
モスクワ国立大学	ロシア			2						2
レニングラード教育大学	ロシア									
ダラーナ大学	スウェーデン									
プーシキン大学	ロシア									
モスクワ教育大学	ロシア									
カリブー大学	カナダ									
全州大学校	中国									
UAB「ブルジョアムアズ」大学	イギリス									
合 計			10	2				2	1	15

(4) 私費外国人留学生入学試験結果

(平成19年3月31日現在)

学 部	学 科	募集人員	区 分	出願者数	受験者	合格者数	入学者数
経 営	経 営	0	推 薦	1	1	0	0 ¹
		5	一 般	3	3	3	3
	ビジネス コミュニケーション	5	推 薦	1	1	1	1
		10	一 般	5	5	2	1
文 化	文 化	5	推 薦	0	0	0	0
		10	一 般	15	15	13	10
合 計			推薦小計	2	2	1	1
			一般小計	23	23	18	14
				25	25	19	15

1 国外大学との推薦入学協定に基づき、推薦区分に1名出願